

市民意見募集（パブリックコメント）の結果について

「新・京都市交通バリアフリー全体構想（仮称）（以下、「新全体構想」といいます。）」の素案について、市民意見募集（パブリックコメント）を実施し、いただいた御意見及び京都市の考え方について取りまとめました。

1 市民意見募集（パブリックコメント）の実施概要

(1) パブリックコメントの募集概要

ア 募集期間

平成 24 年 1 月 20 日（金）から平成 24 年 2 月 18 日（土）まで

イ 意見募集用リーフレット（概要版）の配布場所

市役所庁舎案内所、各区役所・支所、図書館及び主要駅（下表参照）等で、1 月 20 日（金）から配布しました。

なお、点字版、文字拡大版、音声版については、歩くまち京都推進室及び京都ライトハウスにおいても配布しました。

歩くまち京都推進室のホームページには、1 月 20 日（金）から掲載しました（音声版を含む）。

<リーフレット配布駅>

JR 西日本	京都駅、西大路駅、JR 藤森駅、桃山駅、太秦駅
近鉄	京都駅、上鳥羽口駅、丹波橋駅
京阪	三条駅、深草駅
阪急	河原町駅、烏丸駅、大宮駅、嵐山駅
京福	四条大宮駅、帷子ノ辻駅、嵐山駅、北野白梅町駅
叡電	出町柳駅
地下鉄	北大路駅、烏丸御池駅、四条駅、京都駅、山科駅、 三条京阪駅、京都市役所前駅、二条駅

阪急河原町駅、烏丸駅、大宮駅、西院駅、嵐山駅、松尾駅、上桂駅では、パブリックコメント周知ポスターを掲示しました。

ウ 募集方法

持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかで提出。

(2) 意見数

パブリックコメントでは 682 通 2,764 件の御意見をいただきました。御意見をいただいた方の属性は、表 1～表 5 のとおりです。

ア 年代

～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳～	不明
8 通	36 通	85 通	125 通	112 通	129 通	178 通	9 通
33 件	154 件	362 件	501 件	472 件	518 件	681 件	43 件

イ 性別

男性	女性	不明
335 通	330 通	17 通
1,385 件	1,310 件	69 件

ウ 行政区別

北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区
24 通	62 通	33 通	36 通	19 通	22 通	19 通
91 件	229 件	134 件	154 件	77 件	90 件	74 件
南区	右京区	西京区	伏見区	京都市外	不明	
107 通	68 通	62 通	111 通	106 通	13 通	
451 件	252 件	251 件	471 件	436 件	54 件	

エ 公共交通の利用頻度

毎日	週に 3～4 回	週に 2～3 回
234 通	98 通	169 通
1,030 件	425 件	708 件
月に 2～3 回	ほとんど使わない	不明
64 通	21 通	96 通
264 件	91 件	246 件

オ 提出方法

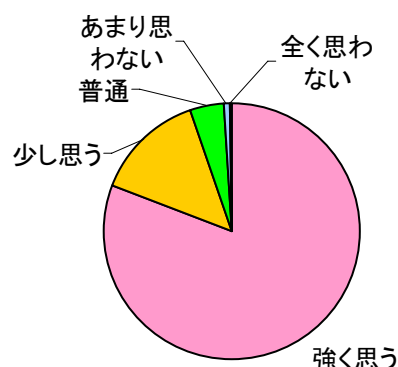
ホームページ	FAX	郵送	持参
174 通	123 通	10 通	375 通
767 件	563 件	23 件	1,411 件

2 「市民意見」取りまとめ結果について

(1) バリアフリーの質問に対する回答について

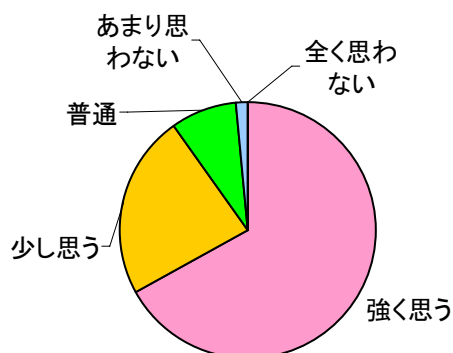
ア 交通施設のバリアフリー化を図ることが必要だと思いますか（622件）

強く思う	503件 (80.9%)
少し思う	87件 (14.0%)
普通	25件 (4.0%)
あまり思わない	6件 (1.0%)
全く思わない	1件 (0.1%)



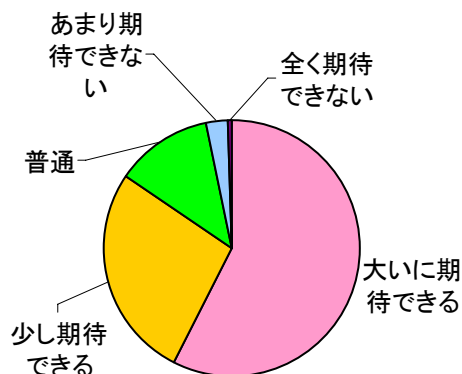
イ バリアフリー化の推進にあたっては、ハード整備だけでなく、利用者に対するサービスや情報提供などのソフト面の対策の充実も必要だと思いますか（625件）

強く思う	419件 (67.0%)
少し思う	146件 (23.4%)
普通	51件 (8.2%)
あまり思わない	9件 (1.4%)
全く思わない	0件 (0.0%)



ウ これからの駅等のバリアフリー化の推進に期待しますか（616件）

大いに期待できる	354件 (57.5%)
少し期待できる	167件 (27.1%)
普通	74件 (12.0%)
あまり期待できない	17件 (2.8%)
全く期待できない	4件 (0.6%)



(2) 自由意見について

ア 全体構想に関する御意見 (241 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
<p>バリアフリー化はいいことだと思うので、1日も早く、1駅でも多くバリアフリーを実現してほしい。</p> <p>また、「全体構想」を早期に策定し、積極的に推進してほしい。</p>	99	<p>京都市では、高齢者や障害のある方をはじめ、すべての人が安心・安全で円滑に移動することのできるユニバーサル社会の実現を目指し、平成14年度に策定した「京都市交通バリアフリー全体構想」に基づき、公共交通事業者や関係機関と連携し「重点整備地区」14地区25駅のバリアフリー化を総合的、計画的に推進してきました。</p> <p>「新全体構想」は、平成32年度を目標年次とする交通バリアフリーの指針として策定するもので、「重点整備地区」と「特定旅客施設」を、新たに10地区、11旅客施設選定しました。</p> <p>今後、この全体構想に基づき、引き続き、関係機関と連携し、駅等のバリアフリー化を着実に推進します。</p>
<p>これからも誰にもやさしく、安心安全な町づくりや、バリアフリー化の目標達成に期待している。</p>	22	
<p>駅のバリアフリーが進み、大変喜んでいる。</p>	18	
<p>バリアフリー化は、高齢化社会で重要であると思うが、市の財政状況が大変な中で「バリアフリー化」を推進するのは大変と思う。</p>	12	
<p>公共交通全体のことを考え、目的地まで歩道・バス・電車等に連続し、途切れることなく使えることが大切である。</p>	9	
<p>バリアフリーといっても、高齢者があまり甘えてはいけない。年とともに足や腰を常に鍛える必要があると思う。</p>	8	
<p>鉄道会社が整備・点検することはもちろん、我々、利用者がルールを守って大切にものを使うことはもっと重要だと思う。</p>	7	
<p>バリアフリーの目標を掲げることはいいことだと思うが、これにとらわれず、積極的にバリアフリー化を進めてほしい。</p>	7	<p>駅等のバリアフリー化にあたっては、公共交通事業者等や関係機関と連携し、「新全体構想」に掲げる目標の早期達成に努めます。</p>

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
<p>「新全体構想」の進行管理を十分に行ってもらいたい。</p>	4	<p>駅等のバリアフリー化にあたっては、公共交通事業者等や関係機関と連携し、「新全体構想」に掲げる目標の早期達成に努めます。</p> <p>「新全体構想」策定後は、「京都市交通バリアフリー推進検討会議」を「京都市交通バリアフリー推進会議(仮称)」に改組し、バリアフリー化整備についての状況把握や進行管理を行います。</p>
<p>「新全体構想」を親しみやすい名称にしてほしい。</p>	4	<p>第4回「京都市交通バリアフリー推進検討会議」で検討します。</p>

イ 個別の旅客施設に関する御意見（333件）

（ア）JR西大路駅（157件）

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
JR西大路駅が早急にバリアフリー化されることを要望する。	98	<p>JR西大路駅は、利用者数が多いにも関わらず、エレベーターが設置されていないことから、平成32年度までにバリアフリー化を図る「重点整備地区」に選定しました。</p> <p>JR西日本等関係機関と連携し、可能な限り、早期にバリアフリー化を図ります。</p>
JR西大路駅は、エレベーターだけでなく、階段の拡幅やエスカレーターの検討もしてほしい。	32	<p>具体的な整備内容については、地域住民や利用者代表の皆様、公共交通事業者や関係機関に御参画いただき、「バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」において、検討します。</p>
JR西大路駅は、歩行通路や改札口がせまいので、北側にも改札口をつけてほしい。	20	
JR西大路駅に待合室を作ってほしい。	4	

(イ) JR 藤森駅 (28 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
JR 藤森駅が早急にバリアフリー化されることを要望する。	21	JR 藤森駅は、利用者数が多いにも関わらず、エレベーターが設置されていないことから、平成 32 年度までにバリアフリー化を図る「重点整備地区」に選定しました。 JR 西日本等関係機関と連携し、可能な限り、早期にバリアフリー化を図ります。

(ウ) JR 桃山駅 (22 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
JR 桃山駅が早急にバリアフリー化されることを要望する。	8	JR 桃山駅は、1 日あたりの平均利用者数が 3,000 人を超えているにも関わらず、エレベーターや情報案内設備が整備されていないことから、平成 32 年度までにバリアフリー化を図る「重点整備地区」に選定しました。 JR 西日本等関係機関との連携の下、可能な限り、早期にバリアフリー化を図ります。

(エ) JR 太秦駅 (15 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
JR 太秦駅が早急にバリアフリー化されることを要望する。	10	JR 太秦駅は、利用者数が多いにも関わらず、エレベーターが設置されていないことから、平成 32 年度までにバリアフリー化を図る「重点整備地区」に選定しました。 JR 西日本等関係機関との連携の下、可能な限り、早期にバリアフリー化を図ります。

(オ) 阪急大宮駅 (6 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
大宮駅はもう少しで使いやすい駅になるのだから、がんばってバリアフリーにしてほしい。	6	阪急大宮駅は、利用者数が多いにも関わらず、エレベーターが設置されていないことから、平成 32 年度までにバリアフリー化を図る「重点整備地区」に選定しました。 阪急電鉄等関係機関との連携の下、可能な限り、早期にバリアフリー化を図ります。

(カ) 阪急西院駅 (25 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
阪急西院駅が早期にバリアフリー化されることを要望する。	21	阪急西院駅は、利用者数が多いにも関わらず、エレベーターが設置されていないことから、平成 32 年度までにバリアフリー化を図る「重点整備地区」に選定しました。 阪急電鉄等関係機関との連携の下、可能な限り、早期にバリアフリー化を図ります。

(キ) 阪急上桂駅 (34 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
<p>阪急上桂駅は、西側にも早急に改札を設置してほしい。</p>	<p>24</p>	<p>具体的な整備内容については、地域住民や利用者代表の皆様、公共交通事業者や関係機関に御参画いただく、「バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」において、検討します。</p>
<p>阪急上桂駅が早急にバリアフリー化されることを要望する。</p>	<p>10</p>	<p>阪急上桂駅は、利用者数が多いにも関わらず、エレベーターが設置されていないことから、平成 32 年度までにバリアフリー化を図る「重点整備地区」に選定しました。</p> <p>阪急電鉄等関係機関との連携の下、可能な限り、早期にバリアフリー化を図ります。</p>

ウ バリアフリー設備に関する御意見 (135 件)

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
<p>すべての駅にオストミー対応トイレの設置をしてほしい。</p>	<p>14</p>	<p>京都市では、すべての人が安心・安全で円滑に移動できるユニバーサル社会の実現に向け、市民、公共交通事業者、行政等と連携し、旅客施設や車両等のバリアフリー化整備に加えて、「みやこユニバーサルデザイン推進指針」に基づく情報及びサービスの提供を進めます。</p>
<p>エレベーターから改札まで移動距離が長く、不便である。</p>	<p>12</p>	

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
ホームドアの設置を要望する。	10	京都市では、高齢者や障害のある方をはじめ、すべての人が安心・安全で円滑に移動することのできるユニバーサル社会の実現を目指し、平成 14 年度に策定した「京都市交通バリアフリー全体構想」に基づき、公共交通事業者や関係機関と連携し
駅や車両での文字情報を増やし、内容も充実してほしい。	8	
全ての駅の段差解消を検討してほしい	6	
エスカレーターも設置して欲しい。	6	
トイレにベビーベッドがあると安心して子供を連れて出かけられる。	5	<p>「重点整備地区」14 地区 25 駅のバリアフリー化を総合的、計画的に推進してきました。</p> <p>「新全体構想」は、平成 32 年度を目標年次とする交通バリアフリーの指針として策定するもので、「重点整備地区」と「特定旅客施設」を、新たに 10 地区、11 旅客施設選定しました。</p> <p>今後、この全体構想に基づき、引き続き、関係機関と連携し、駅等のバリアフリー化を着実に推進します。</p>
外国人がよく迷っているので、誰もが分かりやすい案内板が必要。	5	京都市では、すべての人が安心・安全で円滑に移動できるユニバーサル社会の実現に向け、市民、公共交通事業者、行政等と連携し、旅客施設や車両等のバリアフリー化整備に加えて、「みやこユニバーサルデザイン推進指針」に基づく情報及びサービスの提供を進めます。

エ 道路及び車両に関する御意見（90件）

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
<p>駅だけでなく駅周辺の道路整備や段差も解消してほしい。</p>	26	<p>バリアフリー化の推進にあたっては、駅と生活関連施設（官公署、福祉施設等）を結ぶ道路についても整備の対象としています。具体的な整備内容については、地域住民や利用者代表の皆様、公共交通事業者や関係機関に御参画いただき、「バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」において、検討します。</p>
<p>人にやさしいバス・ノンステップバスの100%の早期実現を要望する。</p>	13	<p>「新全体構想」では、平成32年度の人にやさしいバスの車両数を100%とする目標を掲げています。</p> <p>公共交通事業者と連携し、目標の早期達成に努めます。</p>
<p>道路については、車優先でなく人優先で整備してほしい。</p>	8	<p>京都市では、脱「クルマ」中心社会のモデル都市を目指し、平成22年1月に「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定し、人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けた取組を積極的に推進しています。</p>
<p>バス停のバリアフリー化も進めてほしい。</p>	4	<p>バリアフリー化の推進にあたっては、駅と生活関連施設（官公署、福祉施設等）を結ぶ道路についても整備の対象としています。具体的な整備内容については、地域住民や利用者代表の皆様、公共交通事業者や関係機関に御参画いただき、「バリアフリー移動等円滑化基本構想策定連絡会議」において、検討します。</p>

オ ソフト対策に関する御意見（80件）

主な市民意見要旨	意見数	京都市の考え方
「より多くの方の意見を十分に聴くように努める」という表現は、「利用者の意見は必ず聴く」等、強制力のある表現にすべきである。	6	第4回「京都市交通バリアフリー推進検討会議」で検討します。
最近、バスの運転手さんや駅係員さんからの声掛けが多くなったと感じる。	5	京都市では、すべての人が安心・安全で円滑に移動できるユニバーサル社会の実現に向け、市民、公共交通事業者、行政等と連携し、旅客施設や車両等のバリアフリー化整備に加えて、「みやこユニバーサルデザイン推進指針」に基づく情報及びサービスの提供を進めています。
これからも、より一層声掛け運動を続けてほしいと思う。	4	
ソフト面では接客研修などは障害当事者が関わる研修を行ってほしい。	4	
ハード面での整備をなおざりに抑えてソフト対策で切り抜けようとしているのではないのか。	4	